

# 厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業） 分担研究報告書

補装具価格根拠調査：義肢・装具・座位保持装置（改定版）

研究分担者 我澤 賢之（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）  
山崎 伸也（国立障害者リハビリテーションセンター）

**研究要旨** 障害者総合支援法に基づく補装具費支給制度の基準補装具について、そのうちの義肢・装具・座位保持装置（以下、「義肢等」）の3種目では、基本工作法による製作過程が想定され、その価格は基本価格、製作要素価格、および完成用部品価格により構成されている。本研究では、補装具費支給制度基準補装具における価格水準検討の際参考となる基礎データを提供することを目的に、基本価格・製作要素価格部分の製作費用の大きさならびに採算状況を明らかにするための調査を、製作事業者（日本義肢協会会員、日本車椅子シーティング協会会員の事業者のうち総合支援法での該当3種目製作件数が一定数ある事業者）を対象として行った。本稿は、昨年度の分担報告書に収載していなかった調査結果（調査B）を追加するとともに、一部の推計（作業人件費単価）について別手法による推定について加筆したものである。

平成21年度以降、作業人件費にかかる時間あたり単価、素材費にかかる素材単価の変化を把握する手法を構築し、調査を行ってきた。前回価格改定に向けた調査（平成29年調査実施。30年度価格改定時に参照された者）では、下記の点の改良を行った。（1）作業人件費にかかる時間あたり単価について、種目別数値の推定を可能とするための改定、（2）素材単価調査の対象素材の見直し。

主要な結果は次のとおりである。（1）作業人件費時間あたり単価が、前回調査時と比較し+3.8%ないし+7.7%程度上昇していた。（2）義肢、装具、座位保持装置の種目ごとの推定作業人件費単価を明らかにした。（3）事業者の売上高営業利益率は平均3.4%であった。一定水準を確保しているものの全産業平均、製造業平均数値と比較すると低かった。（4）素材の平均価格は前回調査時と比較し+2.0%の増加を見せた。該当期間において、国内企業物価指数の動きが示すように物価の上昇が影響したと考えられる。

## A. 研究目的

障害者総合支援法に基づく補装具費支給制度の基準補装具について、そのうちの義肢・装具・座位保持装置（以下、「義肢等」）の3種目では、基本工作法による製作過程が想定され[1]、その価格は基本価格、製作要素価格、および完成用部品価格により構成されている[2]。本研究では、補装具費支給制度基準補装具における価格水準検討の際参考となる基礎データを提供することを目的に、基本価格・製作要素価格部分の製作費用の大きさな

らびに採算状況を明らかにするための調査を、製作事業者（日本義肢協会会員、日本車椅子シーティング協会会員の事業者のうち総合支援法での該当3種目製作件数が一定数ある事業者）を対象として行った。なお、本稿は昨年度（令和元年度）分担研究報告書「補装具価格根拠調査：義肢・装具・座位保持装置」の更新版である。昨年度収載していなかった調査結果（調査B。収支、費用構成、価格算定式係数推定）を追加するとともに、一部の推計（作業人件費単価）における別手法による推

定について加筆したものである。

## B. 研究方法

義肢等の製作事業者の業界団体である日本義肢協会ならびに日本車椅子シーティング協会会員に調査票形式での調査を行った。調査票の種別を表1にまとめる。また調査A、Cにかかる調査票を本分担研究報告書末尾に示す。

義肢等の種目の基本価格、製作要素価格は、  
 (ア) 作業人件費、(イ) 素材費および(ウ) その他の費用（製作加工費ならびに使用材料費から前掲2項目を除いた部分）から構成されている[2]。義肢・装具については昭和50年代に飯田[3]、[4]の調査研究によりその基礎が構成された。本研究では、こうした先行研究を踏まえ、各種パラメータのアップデートを行うための基礎情報を調査により収集する。

調査Aは上述の両団体全会員を対象に、(ア)を規定する要素である作業人件費単価の他、収支、その他の現行制度で想定されている価格と費用の乖離を調べることを意図したいくつかの項目

について把握することを意図したものである。調査Cは立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出された一部会員を対象にしたものであり、前述の(イ)に関連し、前回価格改定時（平成29年調査実施、30年度改定）と比較し素材価格の変化状況の把握を意図したものである。本稿では、作業人件費の人件費単価ならびに素材価格の変化について、結果を報告する。

（倫理面への配慮）

本研究では、個人を特定しうる情報を含むデータは使用しない。なお、本研究に、開示すべき利益相反（COI）に関する情報はない。

表1 調査概要

	調査時期	調査対象	調査事項	回収率
調査A 人件費（移動時間含む）・収支について	令和元年8月～令和2年1月	日本義肢協会・日本車いすシーティング協会全会員（382社）	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間あたり作業人件費単価に関する項目</li> <li>労働時間に占める移動時間の割合</li> <li>収支</li> </ul>	返送率 71.7% 発送数 382 回収数 274
調査B 費用構成について	令和元年12月～令和2年1月	日本義肢協会・日本車いすシーティング協会から推薦を受けた42事業者（立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用構成</li> <li>素材、完成用部品のロス率等</li> </ul>	76.2%  発送数 42 回収数 32
調査C 素材価格について	令和元年12月～令和2年1月	日本義肢協会・日本車いすシーティング協会から推薦を受けた42事業者（立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に用いられる各種素材（130種類）の価格（平成26年度上半期、29年度上半期、31年度上半期の各時点の値）</li> </ul>	78.6%  発送数 42 回収数 33

## C. 研究結果

調査の主要な結果は下記のとおりである。

### 調査票 A 作業人件費単価・収支等について

#### 作業人件費の時間あたり単価

下記の手順により、事業者ごとの人件費単価を算出した。まず、雇用に要する人件費（通常支払われる給与、残業代、賞与、法定福利費の事業主負担分など）から雇用に要する年間人件費（a）を算出し、一方製造・営業にかかる従業員の月間労働時間数から年間労働時間（b）を算出する。最後に（a）を（b）で除することで、推定人件費単価を得ることができる。なお、労働時間および人件費のうち毎月支払われるものについては、令和元年9月1日ならびに同10月1日を含む給与算定月間の値（2ヶ月分）をそれ以外の人件費（賞与等）については平成30年10月1日を含む貴事業所の会計期間の値を回答してもらうこととした。

得られた事業所ごとの人件費単価から、全体の平均値を算出し、推定値を得た。ここで価格根拠を考えるうえで、義肢、装具、座位保持装置の種目毎の作業人件費単価の値が必要である。しかし、個々の製作者がある種目を専任的に担当するとは限らず、事業所によっては一人の製作者が複数の種目にまたがって担当することがある。そのため、種目別の作業人件費単価を直接得ることはできない。そこで、本調査では、作業人件費算出のための各種数値を、「義肢のみに携わる方」、「装具のみに携わる方」、「座位保持装置のみに携わる方」、「上記3種目のうち複数に携わる方」の4つの区分に分けて回答してもらい、得られた結果をもとに義肢、装具、座位保持装置の種目ごとの推定を行った。「上記3種目のうち複数に携わる方」の平均単価が全体の平均単価より高い分を、特定種目のみに携わる方の平均単価数値に按分し、個々の種目の作業人件費単価を求めた。

得られた数値およびその他参考数値は、下記の

とおりである（表2）。今回の調査結果は、表の上半分の列項目「令和元年度調査」の「e）令和元年度数値」に示される。

ここでは作業人件費単価の推計について2通りの方法を用いており、そのそれぞれの推定値を併記している。以下その方法について述べる。なお、説明上義肢の場合を取り上げて記載するが、装具、座位保持装置についても同様である。

#### ・推定方法 A

想定：

義肢のみに携わる方と複数種目について作業される方（表2中では「上記3種目のうち複数に携わる方」）の間に、同じ義肢にかかる作業をしているときの生産性には平均的には違いがないと想定。

推計方法：

$$\begin{aligned} & \text{「義肢」の作業人件費単価} \\ & = \text{「義肢のみに携わる方」の作業人件費単価} \\ & \times \text{「全体」の作業人件費単価} \\ & \div (\text{「義肢のみに携わる方」}、\text{「装具のみに携わる方」}、\text{「座位保持装置のみに携わる方」の各作業人件費単価の平均}) \end{aligned}$$

#### ・推計方法 B

想定：

義肢のみに携わる方と複数種目について作業される方とでは、同じ義肢にかかる作業をしているときでも生産性は異なる。また、複数種目について作業される方はどの種目の作業をしているときでも発揮する生産性は等しい。以上のことを想定。

推計方法：

$$\begin{aligned} & \text{「義肢」の作業人件費単価} \\ = & \text{（「義肢のみに携わる方」の作業人件費単価} \\ & \times \alpha \\ & + \\ & \text{「上記3種目のうち複数に携わる方」の作業人件費単価} \\ & \times \beta) \\ & \div (\alpha + \beta) \end{aligned}$$

ただし、

$$\begin{aligned} \alpha &= \text{「義肢のみに携わる方」の労働時間} \\ \beta &= \text{「上記3種目のうち複数に携わる方」の労働時間} \\ & \times \text{義肢に充てられた労働時間の比率} \\ = & \text{「上記3種目のうち複数に携わる方」の労働時間} \\ & \times \alpha \\ & \div (\text{「義肢のみに携わる方」の労働時間と} \\ & \text{「装具のみに携わる方」の労働時間と} \\ & \text{「座位保持装置のみに携わる方」の労働時間の平均}) \end{aligned}$$

推計結果は下記のとおりである。

(経営者を含まない作業人件費単価数値について)

全体	2,046 円/時	
	推計方法 A	推計方法 B
義肢	2,696 円/時	2,336 円/時
装具	1,998 円/時	1,979 円/時
義肢に対する比率	74.1%	84.7%
座位保持装置	2,193 円/時	2,079 円/時
義肢に対する比率	81.4%	89.0%

いずれの推計においても種目別の作業人件費単価は、

義肢 > 座位保持装置 > 装具

の順に単価が高い結果となった。

なお、結果の比較対象として、前回調査（平成29年度）の結果を列項目「c)H29年度数値」に示す。さらに、前回の調査と今回の調査との間でズレがないか確認するため、今回の調査では前述の今回調査対象時点から2年遡った時点を対象とした調査を併せて行った。その結果は、列項目「令和元年度調査」の「d)H29年度数値」に示される。

「c)H29年度数値」と「d)H29年度数値」の結果数値を見比べると、ある程度乖離が見られる（「経営者を含まない作業人件費単価」の全体平均で見て、前者に対し後者は+3.8%高い値）。今回の調査結果を比較する基準をこれらのいずれにするかにより、単価の変化率の変化率にも幅が見られる結果となった。

なお、類似産業等との比較を行うため、毎月勤労統計から得られる人件費単価と今回調査結果を比較した（表2下部）<sup>1</sup>。義肢・装具・座位保持装置の人件費単価は調査産業全体、製造業の平均値等と比べても低い水準にあることが確認された。

<sup>1</sup> 毎月勤労統計数値には法定福利費事業主負担分および退職手当などは含まれていないため、今回調査結果から同基準数値を推定した。具体的には、法定福利費事業主負担分、退職金相当分の給与等

に対する比率（平成29年6月平均15.3%）分を、人件費単価数値から割り引いて（1.1530で除算）推定値を得た。

表2 作業人件費の時間当たり単価の推定結果

	a)平成23 年度調査 *1	b)平成26 年度調査 *1	c)平成29 年度調査 *1	令和元年度調査						
				有効 回答 数	d)H29年 年度数値	有効 回答 数*2	e)令和元 年度数値	有効 回答 数*2	c)→e)の 変化率	d)→e)の 変化率
製作・営業にかかわる人の作業人件費単価(経営者を含まない)										
<直接的な結果> *2										
全体	1,901	1,865	1,900	216	1,971	171	2,046	180	+7.7%	+3.8%
義肢のみに携わる方			2,214	34	2,440	33	2,486	34	+12.3%	+1.9%
装具のみに携わる方			1,729	99	1,702	87	1,843	87	+6.6%	+8.3%
座位保持装置のみに携わる方			1,841	61	2,004	50	2,023	49	+9.9%	+0.9%
上記3種目のうち複数に携わる方			2,008	142	2,072	109	2,148	114	+7.0%	+3.7%
<種目別単価の推定値>										
推定方式A *3										
義肢			2,352		2,646		2,696		+14.6%	+1.9%
装具			1,836		1,846		1,998		+8.8%	+8.3%
座位保持装置			1,956		2,173		2,193		+12.1%	+0.9%
推定方式B *4										
義肢			-		2,264		2,336			+3.2%
装具			-		1,879		1,979			+5.3%
座位保持装置			-		2,037		2,079			+2.1%
製作・営業にかかわる人の作業人件費単価(経営者を含む)										
<直接的な結果>										
全体			2,104	221	2,181	171	2,212	179	+5.1%	+1.4%
義肢のみに携わる方			2,424	38	2,597	34	2,720	36	+12.2%	+4.7%
装具のみに携わる方			1,788	99	1,797	89	1,872	88	+4.7%	+4.2%
座位保持装置のみに携わる方			1,847	64	2,050	53	2,066	50	+11.9%	+0.8%
上記3種目のうち複数に携わる方			2,307	152	2,397	113	2,413	118	+4.6%	+0.7%
<種目別単価の推定値>										
推定方式A *3										
義肢			-		2,960		3,100			+4.7%
装具			-		2,048		2,134			+4.2%
座位保持装置			-		2,336		2,355			+0.8%
推定方式B *4										
義肢			-		2,500		2,568			+2.7%
装具			-		2,089		2,139			+2.4%
座位保持装置			-		2,219		2,238			+0.8%
<参考>										
調査結果(経営者を含まない)から、法定福利費事業主負担分、退職手当等を控除した値。										
※該当内訳有効回答から得られたこれらの金額の給与等に対する比(右記)に基づく推定値					比					
全体						16.7%	17.0%			
以下、種目別単価の推定値ベース						1,690	1,749			+3.5%
義肢						2,092	2,125			+1.6%
装具						1,459	1,575			+7.9%
座位保持装置						1,718	1,729			+0.6%
毎月勤労統計より										
※法定福利費事業主負担分、退職手当など含まない数値										
全産業						2,241	2,326			+3.8%
うち										
同5~29人						1,885	1,945			+3.2%
同30~99人						2,158	2,205			+2.2%
同100~499人						2,468	2,581			+4.6%
同500人以上						3,103	3,219			+3.7%
製造業						2,366	2,447			+3.4%
うち										
同5~29人						1,837	1,883			+2.5%
同30~99人						1,971	2,024			+2.7%
同100~499人						2,390	2,552			+6.8%
同500人以上						3,220	3,275			+1.7%

\*1 出典、[5]、[6]、[7]。

\*2 同一事業所が複数の種目等に回答している場合があるため、「義肢のみに携わる方」以下4つの行項目の有効回答数の合計は「全体」と一致しない。

\*3 「<直接的な結果>」の各項目の調査結果から算出。「上記3種目のうち複数に携わる方」の平均単価が全体の平均単価より高い分を、特定種目のみに携わる方の平均単価数値に按分し、個々の種目の作業人件費単価を求めた。

\*4 「<直接的な結果>」の各項目の調査結果ならびに表には示していない、各項目に該当する回答労働時間より算出。例えば「義肢」の場合、「義肢のみに携わる方」の作業人件費単価と「上記3種目のうち複数に携わる方」の作業人件費単価を該当労働時間の比率で加重平均をとったものである。詳細は本文を参照。

## 収支について（調査票 A 部分）

調査票 A では、収支についての設問を含んでいた。しかし、今回、営業費用に関する設問について製造原価部分のみを回答していると思われる回答が多くみられ、またそのような回答とそうでない回答の切り分けが十分にできなかった。ここでは、その結果を示さないこととする。なお、営業利益率については調査票 B でも別途調査を行っているため、当該調査の項でその数値を示すこととする。

## 調査票 B 費用構成について

回収 32

（うち有効回答が含まれるもの 31）

## 利益率について

直近の売上高営業利益率について、有効回答中最大のもの（と最小のもの）を除いた平均値は 3.4%であった。前回調査の全数調査で得られた数値（対象年度平成 28 年度）は 3.4%であり、同一の数値となった。

法人企業統計調査（財務省）ならびに企業活動基本調査（経済産業省）における、全産業平均、製造業平均を下記に示す[8][9]。

### ・法人企業統計調査

	売上高営業利益率	
	製造業	全産業
平成 28 年度	4.4%	4.0%
平成 29 年度	5.1%	4.4%
平成 30 年度	4.6%	4.4%

### ・企業活動基本調査

	売上高営業利益率
	製造業
平成 28 年度	4.7%
平成 29 年度	5.5%
平成 30 年度（速報値）	4.8%

平成 28 年度と 30 年度を比較すると、後者がかすかに上昇しているものの特に製造業については大きく変化しておらず、調査結果における前回調査結果との比較と同様の傾向であった。ただし、調査結果数値は、上記統計の全産業平均、製造業平均数値と比較すると低いといえる。

## 人件費、消費課税対象部分の比率について

義肢・装具・座位保持装置製作事業者の売上（あるいは販売物の価格）に対する総人件費の比率は、平均（有効回答中最大のもの（と最小のもの）を除いた平均値）は、37.0%であった。

売上から、人件費と営業利益を除いた部分の構成比率は 59.6%である。これはすなわち価格の構成要素のうち消費課税対象となる費用に該当する部分の比率とみなすことができる。この数値の前回調査結果は、52.4%であったが、これに比べると高く、また現行制度の想定値（=60%）とほぼ合致する結果となった<sup>2</sup>。

<sup>2</sup> 厚生労働省告示（補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準）において、義肢、装具、座位保持装置等については、規定の価格に 6%上乗せした金額（100 分の 106 に相当する額）が設定されている[1]。同告示の過去の改正版を見ると、「上乗せ」の比率は、いずれも消費

税率の 60%に設定されている。この「上乗せ」の比率の考え方は、作成や修理にあたって、全体価格に使用材料が占める部分（60%を想定）を考慮し、使用材料の購入にかかる消費税の影響分を算出した割合とされている[10]。

表3 費用構成について

営業費用の構成比率(単位: %)	有効回答数		最大値最小値を除いた平均	標準偏差	昭和53年度調査(義肢)	昭和54年度調査(装具)
	平均	回数				
材料費	16.9	23	16.5	10.6	-	-
a-1 素材費(正味使用分+ロス分)	16.2	23	14.6	15.7	-	-
a-2 完成用部品購入金額(正味使用分+ロス分)	1.7	23	1.6	1.5	-	-
a-3 小物材料費	1.1	23	1.0	1.6	-	-
a-4 材料管理費	17.2	23	17.1	9.7	-	-
b-1【義肢・装具・座位保持装置】基本工作法にかかる人件費	6.1	23	5.8	5.1	-	-
b-2【義肢・装具・座位保持装置】基本工作法以外の製作・修理正味作業にかかる人件費	4.4	23	3.2	7.1	-	-
b-3【義肢・装具・座位保持装置】その他製造作業に伴う人件費	0.9	23	0.8	1.2	-	-
b-4【義肢・装具・座位保持装置】以外の事業【義肢・装具・座位保持装置以外の製造関連	1.2	23	1.0	1.3	-	-
c-1 減価償却費	5.0	23	2.7	13.0	-	-
c-2 外注加工費	0.8	23	0.6	1.0	-	-
c-3 送料など(ただしa-4材料管理費算入分を除く)	0.7	23	0.6	0.9	-	-
c-4 衛生費	1.6	23	1.5	1.6	-	-
c-5 その他	23.0	23	22.7	15.1	-	-
d 販売費及び一般管理費(管理・販売経費)	3.2	23	3.0	5.1	-	*1
営業利益(上記費用項目項目が有効であった事業所のみ)						
(上記から算出)(単位: %)	19.0				23.2	23.8
作業余裕割り増し(= $\langle b-3 \rangle \div (\langle b-1 \rangle + \langle b-2 \rangle)$ )	32.2				74.8	38.5
製造間接費÷人件費 ※3種目以外も含めた平均(= $\langle c-1 \rangle \sim \langle c-5 \rangle$ の計)÷( $\langle b-1 \rangle \sim \langle b-4 \rangle$ の計)	31.2				33.0	36.67
管理・販売経費÷製造原価 ※3種目以外も含めた平均(= $\langle d \rangle \div (\langle a-1 \rangle \sim \langle c-5 \rangle$ の計)						
営業利益(当該項目回答が有効であった事業所すべて)	3.5	30	3.4	4.9	-	-
総人件費	38.1	30	37.0	18.1	-	-
消費税対象となる部分の構成比(売上高から上記2項目を除いたものの構成比)	58.4		59.6			

\*1 昭和53、54年度調査においては、調査対象外である。ただし、価格算定式算出上10%の数値が想定された。

表3 費用構成について(つづき)

	有効 回答 数	平均	最大値最小 値を除いた 平均	標準偏差	昭和53年 度調査 (義肢)	昭和54年 度調査 (装具)
<b>材料関連費用の比率(単位:%)</b>						
<b>義肢</b>						
素材のロス÷素材正味必要分	18	26.9	24.9	21.8	5.0	-
小物材料費÷(素材正味必要分+素材ロス)	18	7.7	6.8	7.6	2.8	*2
素材等の管理費÷(素材正味必要分+素材ロス+小物材料)	18	3.4	2.9	4.2	5.0	*3
完成用部品のロス÷完成用部品正味必要分	18	4.8	4.2	5.8	2.4	-
(完成用部品正味必要分+同ロス)÷売上	18	49.6	50.2	22.6	-	-
完成用部品管理費÷(完成用部品正味必要分+同ロス)	18	4.1	3.4	5.1	5.0	*3
<b>装具</b>						
素材のロス÷素材正味必要分	18	29.3	27.7	20.8	-	23.2
小物材料費÷(素材正味必要分+素材ロス)	18	8.5	7.3	7.8	-	4.91 *2
素材等の管理費÷(素材正味必要分+素材ロス+小物材料)	18	3.7	3.2	4.2	-	4.34 *3
完成用部品のロス÷完成用部品正味必要分	18	6.8	5.4	8.6	-	2.15
(完成用部品正味必要分+同ロス)÷売上	18	18.2	16.7	13.2	-	-
完成用部品管理費÷(完成用部品正味必要分+同ロス)	18	3.9	3.2	5.0	-	4.34 *3
<b>座位保持装置：構造フレームを製作する場合</b>						
素材のロス÷素材正味必要分	19	21.8	18.9	22.2	-	-
小物材料費÷(素材正味必要分+素材ロス)	19	6.6	5.6	7.5	-	-
素材等の管理費÷(素材正味必要分+素材ロス+小物材料)	19	4.5	3.7	5.7	-	-
完成用部品のロス÷完成用部品正味必要分	19	4.3	3.7	5.8	-	-
(完成用部品正味必要分+同ロス)÷売上	19	26.2	24.0	27.1	-	-
完成用部品管理費÷(完成用部品正味必要分+同ロス)	19	4.0	3.3	4.4	-	-
<b>座位保持装置：完成用部品による構造フレームを使用する場合</b>						
素材のロス÷素材正味必要分	22	15.6	13.5	17.6	-	-
小物材料費÷(素材正味必要分+素材ロス)	22	5.5	4.8	6.3	-	-
素材等の管理費÷(素材正味必要分+素材ロス+小物材料)	22	3.2	2.9	3.4	-	-
完成用部品のロス÷完成用部品正味必要分	22	3.2	2.6	4.6	-	-
(完成用部品正味必要分+同ロス)÷売上	22	45.1	45.1	26.1	-	-
完成用部品管理費÷(完成用部品正味必要分+同ロス)	22	3.2	3.0	2.6	-	-
<b>座位保持装置：車椅子・電動車椅子による構造フレームを使用する場合</b>						
素材のロス÷素材正味必要分	21	14.6	12.2	17.2	-	-
小物材料費÷(素材正味必要分+素材ロス)	21	5.4	4.6	6.4	-	-
素材等の管理費÷(素材正味必要分+素材ロス+小物材料)	21	3.2	2.9	3.5	-	-
完成用部品のロス÷完成用部品正味必要分	21	3.5	2.8	4.9	-	-
(完成用部品正味必要分+同ロス)÷売上	21	34.0	32.8	26.9	-	-
完成用部品管理費÷(完成用部品正味必要分+同ロス)	21	3.8	3.3	4.2	-	-

\*2 昭和53、54年度調査においては、小物材料費は「素材正味必要分+素材ロス+完成用部品正味必要分+完成用部品ロス」に対する比率として調査されている。

\*3 昭和53、54年度調査では、素材・小物材料と完成用部品の管理費は分割されず、一つの数値として調査されている。

## 価格算定式の係数推定について

昭和 53、54 年度調査[3][4]の方法におおむねののっとり、価格算定式の係数推定を行った。

### 価格算定式

価格

= 製作加工費 + (広義) 素材費 + 完成用部品価格

= 係数 1

× 正味作業時間 × 作業人件費の時間当たり単価

+ 係数 2 × (狭義) 素材費

+ 係数 3 × 製作事業者の完成用部品購入費 (正味)

推定の元データは表 3 に示したものである。昭和 53、54 年度調査における推計方法と異なる点は下記のとおりである。

- ・小物材料費を、先行研究では、(狭義) 素材費と完成用部品購入費とそれらのロス分に対する比率として調査したのに対し、今回の調査では (狭義) 素材費とそのロス分のみに対する比率とした。
- ・先行研究では、素材・小物材料と完成用部品の管理費は分割されず、一つの数値として調査されていたのを、今回は素材費に係る部分と

完成用部品費に係る部分に分割して、調査を個なった。

推計の結果を表 4 に示す。義肢については、係数 1、3 において昭和 53 年度調査より小さくなったものの、係数 2 は大きくなり、全体として製作加工費や狭義の素材費に付随する費用の比率が昭和 53 年度に比べて増加したのか、減少したのかは一概には言えない。これに対し、装具については、各係数とも昭和 54 年度調査の結果より小さくなっており、こうした付随費用の比率が低下しているとの結果となった。ただし、実際の補装具費支給制度の運用では、各係数とも昭和の調査結果から調整されての運用を行っている可能性があり、制度想定での付随費用が全体として今回の調査結果と比較して大きいか小さいかについては、一概には言えない。

表 4 価格算定式の係数の推定結果

	係数1 作業人件費 の係数	係数2 素材費の係 数	係数3 完成用部品 の係数
義肢	2.06 (3.15)	1.80 (1.66)	1.41 (1.62)
装具	2.06 (2.58)	1.85 (2.03)	1.43 (1.68)
座位保持装置			
構造フレームを製作する場合	2.06	1.71	1.40
構造フレームを製作する場合	2.06	1.60	1.39
車椅子・電動車椅子による 構造フレームを使用する場合	2.06	1.58	1.39

※括弧内数値は、先行研究における昭和53、54年度調査による数値で、見込利益率として10%を加算したものである(義肢、装具のみ)[3][4]。

※括弧のない、今回の調査結果数値については、見込利益率の加算を行っていない値ベースのものを示している。実際には、この部分の想定と加算が必要と考えられる。

## 調査票 C 素材価格について

回収 33

(うち有効回答が含まれるもの 31)

前価格改定前調査時(29年度上半期)から直近(31年度上半期)にかけての素材単価変化率の平均値(単純平均)は+2.0%であった。種目毎の素材についての変化率の平均値は下記のとおりである。

義肢用(該当素材 93 種) +1.4%

装具用(同 115 種) +1.7%

座位保持装置用(同 85 種) +2.3%

### ※推定方法

1. 各素材について、それぞれの事業者の価格変化率(該当時点の価格について有効回答がある事業者のみ)を算出。
2. 各素材について、事業者のうち価格変化率が最大のものと最小のものを除いたうえで、事業者の間での平均価格変化率を算出(なお素材の回答事業者数が3未満の場合は、算入しない)。
3. 各素材の平均価格変化率を平均(単純平均)し、素材単価変化率を算出。
4. 各素材の平均価格変化率(「素材毎の価格変化率の事業所間平均」)を算出した後、全素材(130 種中、有効回答が3件以上あった120 種)の変化率の単純平均を算出する。

なお、前々回調査時点(平成26年度上半期)から直近(31年度上半期)にかけての素材単価変化率の平均値は、+4.6%であった。

素材毎の価格変化率の事業所間平均は以下の表のとおりである(表5)。平成29年度上半期からの価格の上昇率が比較的大きかった素材は、ウレタンチップ、ピラミッド等滑り止めシートなどであった。一方、フェルトなどは単価が下落していた。

この期間の物価の動きを国内企業物価指数で見ると、平成26年度上半期(6月)から29年度上半期にかけて、全体的な値動きを示す総平均が一度低下し、それが31年度上半期までにある程度回復する動きを見せている(表4)。

前回調査時は平成26年度から29年度にかけての国内企業物価指数総平均や原油価格の下落のなかで、一石膏関連素材ならびにポリビニルアルコール樹脂(PVA)で価格の上昇等の動きに合わせて、若干素材価格が上昇していた(+2.2%) [7]。国内企業物価指数のなかでも、石膏の含まれる類別にあたる窯業・土石製品や、金属製品などは時間の経過とともに上昇している [11]。

平成29年度から31年度にかけての物価の動きを見ると、国内企業物価指数のうち先に触れた窯業・土石製品や、金属製品の指数が引き続き上昇したほか、26年度以降下落していた石油・石炭製品や木材・木製品などの指数が上昇に転じた。結局、国内企業物価指数の類別指標の多くが29年度の水準から上昇している(総平均で+2.6%) [11]。

表5 素材単価の平均変化率

			素材価格の変化率		有効回答数		
			平成29年度 上半期 →平成31年 度上半期	平成26年度 上半期 →平成31年 度上半期	平成29年度 上半期 →平成31年 度上半期	平成26年度 上半期 →平成31年 度上半期	
全素材平均			+2.02%	+4.60%			
うち義肢用素材のみ			+1.40%	+4.00%			
素材用素材のみ			+1.69%	+4.11%			
座位保持装置用素材のみ			+2.29%	+4.73%			
該当素材数 93 115 85			※有効回答 3 件以上の項目のみ 算入。				
該当種目							
義肢	装具	座位保持装置	素材・小物材料等名称				
○	○	○	1 石膏(ギプス粉)(1袋25kg)	+0.13%	+0.01%	18	17
○	○		2 プラスランE(1巻)	0.00%	+1.61%	11	12
○	○	○	3 ギプス包帯 2列(1巻)	+3.44%	+6.59%	20	19
○	○	○	4 ギプス包帯 3列(1巻)	+6.06%	+11.29%	16	15
○	○	○	5 熱可塑性プラスチックキャスト	-	-	1	2
○	○		6 アクリル樹脂硬性	0.00%	0.00%	10	8
○	○		7 アクリル樹脂軟性	0.00%	+0.75%	11	9
○	○		8 アクリル樹脂(軟性・硬性)混合	+0.49%	+1.60%	13	12
○	○		9 アクリル樹脂用硬化剤	0.00%	0.00%	10	7
○	○		10 熱硬化性樹脂 硬性	+4.77%	+16.44%	11	10
○	○		11 熱硬化性樹脂 軟性	+4.24%	+19.07%	6	6
○	○	○	12 発泡樹脂	+1.98%	+2.16%	14	13
○	○	○	13 熱可塑性プラスチック材	+0.58%	+1.20%	8	7
	○	○	14 ポリプロピレン	+4.82%	+13.14%	18	17
	○		15 コ・ポリマー	0.00%	+2.98%	10	11
	○	○	16 サブ・オルソレン	+2.54%	+4.74%	14	12
	○		17 オルソレン	+1.63%	+4.03%	6	6
	○		18 トレラッククリア	+1.40%	+2.05%	12	12
○	○	○	19 アセトン・シンナー類	+1.94%	+2.88%	21	18
○	○	○	20 接着剤	+2.90%	+8.99%	19	14
○	○		21 PVA シート	-	-	2	1
○	○		22 PVA 4"	+1.86%	+3.10%	7	7
○	○		23 PVA 6"	+0.95%	+5.66%	10	9
○	○		24 PVA 8"	+1.52%	+4.52%	12	12
○	○		25 PVA 10"	+0.89%	+2.48%	10	9
○	○		26 PVA 12"	+1.19%	+5.00%	8	7
○	○		27 ナイロンストッキングネット 2"	0.00%	+2.78%	7	6
○	○		28 ナイロンストッキングネット 3"	+0.03%	+1.43%	10	8
○	○		29 ナイロンストッキングネット 4"	+1.14%	+4.16%	9	7
○	○		30 ナイロンストッキングネット 10"	0.00%	+5.90%	7	6
○			31 ストッキング	0.00%	0.00%	7	6
○	○		32 Vマット(1m幅)	-	-	2	2
○	○		33 テトロンフェルト(1m幅)	0.00%	+1.59%	11	9

○	○		34 トレカクロス25mm	0.00%	0.00%	6	5
○	○		35 トレカクロス50mm	0.00%	+0.62%	8	6
○	○		36 カーボンストッキネット 3インチ	-	-	2	2
○	○		37 カーボンストッキネット 4インチ	0.00%	0.00%	5	4
○	○		38 カーボンストッキネット 5インチ	+2.31%	+6.00%	6	5
○	○		39 カーボンストッキネット 6インチ	+1.12%	+2.50%	9	8
○	○		40 カーボンストッキネット 8インチ	+2.25%	+3.21%	5	6
○	○		41 カーボンシート材	0.00%	0.00%	4	3
○	○		42 カーボン帯状のもの(2.5cm幅)	0.00%	0.00%	3	4
○	○		43 カーボン帯状のもの(5cm幅)	0.00%	0.00%	3	4
○	○		44 グラスファイバー	-	-	1	1
○	○	○	45 クローム革	+3.44%	+7.12%	15	14
○	○	○	46 なめし革	+3.00%	+3.00%	6	6
○	○	○	47 ヌメ革	+4.14%	+16.08%	12	11
○	○	○	48 茶利革	+0.31%	+8.75%	7	7
○	○	○	49 合成皮革(クラリーノ等)	+2.60%	+5.31%	12	12
○			50 木ブロック	0.00%	0.00%	3	3
○			51 桐材	+4.61%	+11.28%	6	6
○	○		52 アンクルブロック(ホウ材)	0.00%	-3.32%	7	6
○	○	○	53 軽合金(ナマコポー)	+3.17%	+4.84%	10	8
	○		54 半月材	+5.80%	+10.12%	12	12
○	○	○	55 ポリエチレン	+3.44%	+7.22%	19	15
○	○	○	56 黄スポンジ	0.00%	+12.99%	11	13
○	○	○	57 EVA等硬質スポンジ	+1.18%	+0.73%	13	12
○	○	○	58 ゴム系樹脂クッション素材	+5.72%	+5.32%	6	4
	○		59 ピラミッドシート等滑り止めシート	+11.12%	+7.24%	6	5
○	○		60 ゴム帯地(25mm幅)	+0.26%	0.00%	5	4
○	○	○	61 ダクロンテープ(25mm幅)	+3.54%	+5.70%	8	8
○	○		62 ビニール管(義手・腋下部用)	0.00%	0.00%	4	3
○	○	○	63 ベルト(バックル)	0.00%	0.00%	5	5
○	○	○	64 丸環	+2.50%	+2.50%	4	4
○	○		65 フェルト	-2.01%	+11.68%	16	15
○	○	○	66 帆布	+3.38%	+7.73%	11	11
	○	○	67 オペロン	+1.24%	+2.73%	9	7
	○	○	68 パイル地	+4.76%	+4.27%	14	9
○	○	○	69 布(上記以外のもの)	+1.93%	+2.27%	8	8
	○		70 スパンデックス	0.00%	0.00%	3	3
		○	71 ウレタンチップ #6000	+6.04%	+8.34%	8	6
		○	72 ウレタンチップ #7000	+5.14%	+8.51%	10	8
		○	73 ウレタンチップ #8000	+5.17%	+12.74%	8	5
		○	74 ウレタンチップ #10000	+26.34%	+27.72%	3	3
		○	75 ウレタンチップ #12000	+7.69%	+7.69%	3	3
		○	76 ウレタンチップ #15000	-	-	2	2
		○	77 ウレタンチップ #20000	-	-	2	2
	○	○	78 ウレタン 10mm厚	+5.41%	+7.63%	12	11
	○	○	79 低反発ウレタン 15mm厚	0.00%	+9.52%	4	3
	○	○	80 低反発ウレタン 20mm厚	+2.47%	+8.25%	7	5
	○	○	81 低反発ウレタン 30mm厚	+3.75%	+4.17%	5	3
	○	○	82 低反発ウレタン 40mm厚	+1.04%	+4.48%	5	5
	○	○	83 低反発ウレタン 50mm厚	+5.56%	+9.94%	3	3

	○	○	84 ムマック 10mm厚	+4.73%	+4.73%	8	5
	○	○	85 ムマック 15mm厚	-	-	1	1
		○	86 合板 90cm x 180cm 9mm厚	+1.94%	+6.18%	13	13
	○	○	87 ビニールレザー	+2.81%	+3.93%	15	13
○	○	○	88 マジックベルト 25mm幅	+2.04%	+11.77%	21	16
○	○	○	89 マジックベルト 30mm幅	+2.97%	+5.91%	10	7
○	○	○	90 マジックベルト 38mm幅	+1.33%	+15.74%	12	8
○	○	○	91 マジックベルト 40mm幅	-	-	1	1
○	○	○	92 マジックベルト 50mm幅	+0.85%	+7.75%	24	18
	○	○	93 Wラッセル 5mm厚以下	+0.63%	+3.13%	7	3
	○	○	94 Wラッセル 8mm厚	0.00%	0.00%	5	4
	○	○	95 Wラッセル10mm厚以上	0.00%	-	3	1
	○	○	96 エアータッチ(ダブル)	0.00%	0.00%	4	4
○	○	○	97 ナイロンベルト 25mm幅	+3.34%	+6.48%	15	11
○	○	○	98 ナイロンベルト 38mm幅	+0.82%	+1.05%	11	9
○	○	○	99 ナイロンベルト 50mm幅	+1.47%	+2.42%	14	12
○	○	○	100 ラミネート 5mm厚	-	-	2	2
		○	101 防水シート	0.00%	+4.06%	9	6
○	○	○	102 バックル 25mm幅用	+0.30%	+0.61%	13	13
○	○	○	103 バックル 38mm幅用	+0.57%	0.00%	10	8
○	○	○	104 バックル 50mm幅用	+0.35%	0.00%	14	11
○	○	○	105 アジャスター 25mm幅用	+0.72%	0.00%	16	11
○	○	○	106 アジャスター 38mm幅用	+0.96%	0.00%	13	10
○	○	○	107 アジャスター 50mm幅用	-1.68%	0.00%	13	10
○	○	○	108 Dカン 25mm幅用	+1.43%	0.00%	9	7
○	○	○	109 Dカン 38mm幅用	+1.67%	0.00%	7	5
○	○	○	110 Dカン 50mm幅用	+2.38%	+10.00%	5	3
○	○	○	111 角カン 25mm幅用	+3.48%	+3.40%	17	15
○	○	○	112 角カン 38mm幅用	+1.51%	+0.66%	11	10
○	○	○	113 角カン 50mm幅用	+0.61%	0.00%	17	14

表4 国内企業物価指数の推移

	平成26年 6月 (=100)	平成29年 6月	令和元年 6月
<b>国内企業物価指数（2015年基準）から作成</b>			
総平均	100.0	95.3	97.8
大類別/工業製品	100.0	95.5	97.6
類別/ 飲食料品	100.0	101.2	102.7
類別/ 繊維製品	100.0	100.6	103.0
類別/ 木材・木製品	100.0	99.6	101.4
類別/ パルプ・紙・同製品	100.0	99.8	108.4
類別/ 化学製品	100.0	87.8	87.2
類別/ 石油・石炭製品	100.0	69.9	80.0
類別/ プラスチック製品	100.0	95.1	96.8
類別/ 窯業・土石製品	100.0	100.3	105.4
類別/ 鉄鋼	100.0	98.8	105.3
類別/ 非鉄金属	100.0	96.7	96.6
類別/ 金属製品	100.0	102.3	107.3
類別/ はん用機器	100.0	100.7	103.1
類別/ 生産用機器	100.0	100.9	102.3
類別/ 業務用機器	100.0	101.4	101.2
類別/ 電子部品・デバイス	100.0	96.2	95.8
類別/ 電気機器	100.0	94.8	93.6
類別/ 情報通信機器	100.0	96.7	93.2
類別/ 輸送用機器	100.0	99.2	98.4
類別/ その他工業製品	100.0	100.3	101.6
大類別/農林水産物	100.0	104.6	106.1
類別/ 農林水産物	100.0	104.6	106.1
大類別/鉱産物	100.0	94.1	100.7
類別/ 鉱産物	100.0	94.1	100.7
大類別/電力・都市ガス・水道	100.0	87.3	97.2
類別/ 電力・都市ガス・水道	100.0	87.3	97.2
大類別/スクラップ類	100.0	83.8	84.1
類別/ スクラップ類	100.0	83.8	84.1
<b>(参考)夏季電力料金調整後</b>			
総平均	100.0	95.3	97.6
類別/ 電力・都市ガス・水道	100.0	87.3	93.9

## D. 考察

(作業人件費の時間あたり単価)

作業人件費単価は上昇傾向にあることが確認された。これは、平成 30 年度の義肢等 3 種目の価格引き上げにより引き上げが可能になったというだけでなく、産業全体、製造業全体の人件費単価上昇の動きにも合致していると考えられる。

前回調査を行った平成 29 年度の作業人件費単価について、今回再度調査を行ったところ、前回結果より若干高い結果となった。回答における種目間の構成比など大きくは変わっておらず、なにがこれに影響したのかは改めて検討が必要である。

改めて、義肢、装具、座位保持装置の種目間で作業人件費の時間あたり単価に差があることが確認された。義肢に比べ、装具の作業人件費単価は 74.1%、座位保持装置 81.4%という結果であった。実際には事業所により、種目毎に作業担当者が別れている形態をとっている事業所と特に種目別の区分けのない形態である事業所とが混在しているものの、調査回答事業所全体でみればある程度技能の高い作業者が義肢製作に従事している傾向が示唆された。

(収支)

調査結果は前回調査時点（平成 28 年度）と同水準の 3.4%であった。他の企業統計における、全産業平均、製造業平均もほぼ同様（微増、もしくはほぼ変わらず）であった。

調査結果数値が、上記統計の全産業平均、製造業平均数値と比較すると低い点は、過去の調査と同様であり、この点をどう評価するかが課題と思われる。

(人件費、消費課税対象部分の比率について)

今回の調査結果による売上高に占める費用のうち消費課税対象部分の比率は 59.6%と約 60%の値となっており、制度の想定するほぼ同水準であっ

た。ただし、当該調査（調査票 B）が全数調査ではないこと、前回（平成 29 年度）調査では、52.4%と約 50%の結果であったことを考えれば、制度想定数値の妥当性を確認するために、一度大きな規模で調査を行うなどの確認を行う必要があるかもしれない。

(費用構成比率について)

義肢、装具については、作業人件費、素材費に付随する費用の比率にかかる状況が、昭和 53.54 年度調査当時とは変化してきていることがうかがえる結果が得られた。

今後、本研究でも正味作業時間、素材使用量に関する調査を実施する予定であるが、もし今後も当面現行の公定価格制の補装具費支給制度を前提にするならば、こうしたデータと合わせ考え、より現状に即した価格算定式とそのパラメータのセットを提示することが、事業者の適正採算に即した価格設定上望ましいと考えられる。

(素材価格)

調査結果からは、素材価格の上昇傾向が確認された。国内企業物価指数の総平均も同様の傾向を示しており、素材価格上昇の背景として前回調査以降の物価の上昇が影響していると考えられる。

## E. 結果

製作事業者を対象に製作費用を把握する調査を行った。この作業を通じ、作業人件費の時間あたり単価、素材単価の変化についてはある程度状況把握を行えたと考えている。作業人件費の時間あたり単価は前回調査時に比べ、+3.8%ないし+7.7%程度上昇していた。売上高利益率は平均 3.4%という結果であり、一定水準を確保しているものの全産業平均、製造業平均数値と比較すると低かった。さらに、義肢、装具、座位保持装置の種目ごとの推定作業人件費単価を明らかにした。素材の平均価

格は前回調査時と比較し+2.0%程度の上昇が確認された。

義肢・装具・座位保持装置の3種目について包括的に価格根拠を把握するためには、今回調査実施できていない作業時間、素材費の絶対額の把握についても、把握する必要がある。その前提として、対象となる用具の仕様や製作方法について、関連するステークホルダーと共通の認識を前提に議論できるよう、こうした情報を整理する必要がある。こうした点を踏まえ、今後の研究を進めていきたいと考えている。

## F. 健康危険情報

(なし)

## G. 研究発表

(なし)

## H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

(なし)

## I. 引用文献

[1] 厚生労働省. 補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準, 平成18年9月29日厚生労働省告示第528号, 第11次改正令和2年3月31日厚生労働省告示第157号,  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000618681.pdf>

[2] 厚生労働省. 補装具費支給事務取扱要領, 障企自発 0331 第1号 令和2年3月31日,  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000617334.pdf>

[3] 飯田卯之吉. 補装具の種目, 構造, 工作法等に関する体系的研究、厚生省厚生科学研究(特別研究事業)昭和53年度特別研究報告書, 所沢, 1979.

[4] 飯田卯之吉. 補装具の種目, 構造, 工作法等に関する体系的研究、厚生省厚生科学研究(特別研究事業)昭和54年度特別研究報告書, 所沢, 1980.

[5] 我澤賢之, 山崎伸也. 補装具費支給制度の価格に関する課題抽出. 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業(身体・知的等障害分野)「利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究」分担研究報告書 平成23年度 総括・分担研究報告書, 所沢, 2012.

[6] 我澤賢之, 山崎伸也, 長瀬毅. 義肢・装具・座位保持装置製作費用調査, 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野))「補装具費の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」分担研究報告書 平成26年度 総括・分担研究報告書, 所沢, 2015.

[7] 我澤賢之, 山崎伸也. 補装具価格根拠調査(1): 義肢・装具・座位保持装置, 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野))「補装具費支給制度における種目の構造と基準額設定のあり方に関する調査研究」分担研究報告書 平成29年度 総括・分担研究報告書, 所沢, 2018.

[8] 財務総合政策研究所. 法人企業統計調査,  
<https://www.mof.go.jp/pri/reference/ssc/results/nenpou.htm>

[9] 経済産業省. 企業活動基本調査,  
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kikatu/result-2.html>

[10] 檜本修. 補装具費支給判定基準マニュアル  
— 支援者のための —,  
[http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/hosougukenkkyu/doc/hantei\\_manual\\_koukaiban.pdf](http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/hosougukenkkyu/doc/hantei_manual_koukaiban.pdf)

[11] 日本銀行. 企業物価指数,  
[https://www.boj.or.jp/statistics/pi/cgpi\\_release/](https://www.boj.or.jp/statistics/pi/cgpi_release/)

[https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=\\$nme\\_a000&lstSelection=PR01](https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/cgi-bin/famecgi2?cgi=$nme_a000&lstSelection=PR01)

**義肢・装具・座位保持装置製作費用実態調査  
調査票A：人件費・収支等について**

国立障害者リハビリテーションセンター  
我澤 賢之  
山崎 伸也

※本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金 障害者対策総合研究事業「補装具費支給制度における種目の構造と基準額設定に関する調査研究」(研究代表者 山崎伸也)を受け行っております。

●事業所名・所在地・ご回答担当者様等について

貴事業所ならびにご回答いただく担当者様についてご記入下さい。

事業所の所在する都道府県名についてご記入下さい。	
ご回答事業者様事業所名	
担当者様ご氏名	
担当者様電話番号	
担当者様メールアドレス (メールご使用の場合)	

下記の補装具の取扱の有無について、条件に該当する項目に○、該当しない項目に×をお書き下さい。

義肢	障害者総合支援法による義肢の取扱のある事業所様	<input type="checkbox"/>
装具	障害者総合支援法による装具の取扱のある事業所様	<input type="checkbox"/>
座位保持装置	補装具費支給基準の座位保持装置の項目に基づく見積もりによる機器の製作件数(ただし、特例補装具としての座位保持装置の製作件数を含む)について、過去3年間のなかで年間20件以上製作された年が一度以上ある事業所様	<input type="checkbox"/>

※1つ以上に○がある場合 → 以下の設問にお答え下さい。

※すべて×である場合 → ご回答いただく箇所はここまでです。ご協力ありがとうございます。お手数ですが、同封の返信用封筒もしくはeメールにてご返送ください。

下記の団体に加入されている場合、○印をお書き下さい。

日本義肢協会

日本車椅子シーティング協会





●1-3【最近の特別給与】特別に支払われた給与(特別給与)について

記入対象期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日  
 例) 会計期間が1月1日～12月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は平成30年12月31日  
 会計期間が4月1日～3月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は平成31年3月31日  
 会計期間が10月1日～9月30日の事業所の場合 → 記入対象期間は平成30年10月1日～令和元年9月30日  
 ※対象者、対象支給がない場合は該当欄を空欄にせず「0」をご記入ください。

●各種社会保険適用の有無  
 下記の社会保険のなかで事業所で保険料を支払って  
 いらっしゃるものに○印を、支払っていらっしゃらないもの  
 に×印をご記入ください。  
 健康保険(介護保険を含む)  
 厚生年金保険  
 労災保険  
 雇用保険


1. 支給対象に該当する 経営者・従業員の数 ※該当する方的人数 単位:人	2. 支給された特別給与等金額 合計(=2a+2b) ※該当する方全員の支給額の合計値 単位:円	2a 特別に支払われた 給与(税引前)(註3)	2b 法定福利費の事業 給与(主負担分)(註4)
		単位:円	単位:円
1. 所定内労働時間週20時間以上の方について			
【特定種目専従の方】義肢・装具・座位保持装置(車椅子・電動車椅子兼任を含む)のいずれか1種目に専従される方については1-1-1-3の欄にご記入ください。			
1-1. 義肢専従の方について			
義肢の製作・営業に従事する経営者(註1)			
義肢の製作・営業に従事する経営者ではない方			
1-2. 装具専従の方について			
装具の製作・営業に従事する経営者(註1)			
装具の製作・営業に従事する経営者ではない方			
1-3. 座位保持装置(車椅子・電動車椅子兼任を含む)(註2)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者(註1)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者ではない方			
【種数種目に従事される方】義肢・装具・座位保持装置のうち複数種目について扱っている方については1-4の欄にご記入ください。			
1-4. 上記以外で義肢・装具・座位保持装置を扱っている方について			
当該補装具の製作・営業に従事する経営者(註1)			
当該補装具の製作・営業に従事する経営者ではない方			
2. 所定内労働時間週20時間未満の方について			
【特定種目専従の方】義肢・装具・座位保持装置(車椅子・電動車椅子兼任を含む)のいずれか1種目に専従される方については2-1-2-3の欄にご記入ください。			
2-1. 義肢専従の方について			
義肢の製作・営業に従事する経営者(註1)			
義肢の製作・営業に従事する経営者ではない方			
2-2. 装具専従の方について			
装具の製作・営業に従事する経営者(註1)			
装具の製作・営業に従事する経営者ではない方			
2-3. 座位保持装置(車椅子・電動車椅子兼任を含む)(註2)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者(註1)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者ではない方			
【種数種目に従事される方】義肢・装具・座位保持装置のうち複数種目について扱っている方については2-4の欄にご記入ください。			
2-4. 上記以外で義肢・装具・座位保持装置を扱っている方について			
当該補装具の製作・営業に従事する経営者(註1)			
当該補装具の製作・営業に従事する経営者ではない方			

註1 経営・事務専従の方は含みません。  
 註2 座位保持装置事業と単いす事業との間で、切り分けが困難な場合は、単いす事業を含めた数値をご記入ください。  
 註3 特別に支払われた給与: 労働協約、就業規則等によらず、一時的又は突発的事由に基づき労働者に支払われた給与又は労働協約、就業規則等によりあらかじめ支給条件、算定方法が定められている給与で以下に該当するもの。  
 (1) 夏の賞与、期末手当等 (2) 支給事由の発生が不定期なもの  
 (3) 3か月を超える期間で算定される手当等 (6か月分支払われる通勤手当等) (4) いわゆるペーサースアップの差額追給分  
 註4 法定福利費の事業主負担分: 健康保険料(介護保険料を含む)、厚生年金保険料(子ども子育て拠出金を含む)、労災保険料、雇用保険料の事業主負担分の金額をお書きください。





●H-3【比較対象時点の特別給与と特別に支払われた給与(特別給与)について】

記入対象期間 平成28年10月1日を含む事業所の会計期間  
 例) 会計期間が1月1日～12月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は平成28年1月1日～平成28年12月31日  
 会計期間が4月1日～3月31日の事業所の場合 → 記入対象期間は平成28年4月1日～平成29年3月31日  
 会計期間が10月1日～9月30日の事業所の場合 → 記入対象期間は平成28年10月1日～平成29年9月30日  
 会計期間の開始月日 年 月 日  
 ※対象者、対象支給がない場合は該当欄を空欄にせず「0」をご記入ください。

1. 支給対象に該当する 経営者・従業員の数 ※該当する方的人数 単位:人	2. 支給された特別給与等金額 合計(=2a+2b) 単位:円	2a 特別に支払われた 給与(税引前)(註3)	2b 法定福利費の事業 給付(主負担分)(註4)
		※該当する方全員の支給額の合計値 単位:円	
1. 所定内労働時間週20時間以上の方について			
〔特定種目専従の方〕義肢・装具・座位保持装置(車椅子・電動車椅子兼任を含む)のいずれか1種目に専従される方については1-1～1-3の欄にご記入ください。			
1-1. 義肢専従の方について			
義肢の製作・営業に従事する経営者(註1)			
義肢の製作・営業に従事する経営者ではない方			
1-2. 装具専従の方について			
装具の製作・営業に従事する経営者(註1)			
装具の製作・営業に従事する経営者ではない方			
1-3. 座位保持装置(車椅子・電動車椅子を含む)(註2)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者(註1)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者ではない方			
〔複数種目に従事される方〕義肢・装具・座位保持装置のうち複数種目について扱っている方については1-4の欄にご記入ください。			
1-4. 上記以外で義肢・装具・座位保持装置を扱っている方について			
当該種目の製作・営業に従事する経営者(註1)			
当該種目の製作・営業に従事する経営者ではない方			
2. 所定内労働時間週20時間未満の方について			
〔特定種目専従の方〕義肢・装具・座位保持装置(車椅子・電動車椅子兼任を含む)のいずれか1種目に専従される方については2-1～2-3の欄にご記入ください。			
2-1. 義肢専従の方について			
義肢の製作・営業に従事する経営者(註1)			
義肢の製作・営業に従事する経営者ではない方			
2-2. 装具専従の方について			
装具の製作・営業に従事する経営者(註1)			
装具の製作・営業に従事する経営者ではない方			
2-3. 座位保持装置(車椅子・電動車椅子を含む)(註2)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者(註1)			
座位保持装置の製作・営業に従事する経営者ではない方			
〔複数種目に従事される方〕義肢・装具・座位保持装置のうち複数種目について扱っている方については2-4の欄にご記入ください。			
2-4. 上記以外で義肢・装具・座位保持装置を扱っている方について			
当該種目の製作・営業に従事する経営者(註1)			
当該種目の製作・営業に従事する経営者ではない方			

註1 経営・事務専従の方は含みません。

註2 座位保持装置事業と重なり、事業との間で、切り分けが困難な場合は、重なり事業を含めた数値をご記入ください。

註3 特別に支払われた給与：労働協約、就業規則等によらず、一時的又は突発的事由に基づき労働者に支払われた給与又は労働協約、就業規則等によりあらかじめ支給条件、算定方法が定められている給与で以下に該当するもの。

(1) 夏の賞与、期末手当等の一時金 (2) 支給事由の発生が不定期なもの  
 (3) 3か月を超え期間で算定される手当等(6か月分支払われる通勤手当等)

(4) いわゆるペーサアップの差額追給分

註4 法定福利費の事業主負担分：健康保険料(介護保険料を含む)、厚生年金保険料(子ども・子育て拠出金を含む)、労災保険料、雇用保険料の事業主負担分の金額をお書きください。

● Ⅲ 収支について  
 < 収益 >

過去3年(3会計年度)にかかる収益(売上等)についてご記入ください。もし可能でしたら内訳についてもご記入ください。該当する収益等が生じなかった項目については、空欄にせず「0」千円、「0」件とご記入ください。

	平成29年10月1日を含む会計期間	平成28年10月1日を含む会計期間
<b>&lt; 収益 &gt; ※売上についての設問です(「利益」ではなく「収益(売上)」の設問である点、ご注意ください。)</b>		
<b>1. 営業収益</b>		
[営業収益]: 事業での売上高の合計額(純売上高)をお書き下さい。	千円	千円
1. 営業収益(合計)	千円	千円
(内訳のうち、義肢・装具・座位保持装置の売り上げが分類可能な場合は、1-1をご記入ください。その他の売上がある場合、1-1の合計は上の「1. 営業収益(合計)」と一致しません)		
1-1 補装具関連福祉用具(註1・註2)		
義肢・装具・座位保持装置 製作・修理・販売	千円	千円
義肢	千円	千円
装具	千円	千円
座位保持装置	千円	千円
<b>2. 営業外収益</b>		
[営業外収益]: 受取利息、受取配当金、補助金など、本業以外の経営活動による収入をご記入下さい。ただし、特別利益(通常の経営活動とは直接関わりのない、特別な要因で発生した臨時的・偶発的な利益。固定資産売却益、投資有価証券売却益、関係会社株式売却益など)は除きます。	千円	千円
2. 営業外収益	千円	千円

註1 義肢・装具は補装具費支給制度によるものに限らず医療費等其他制度によるものなど同等品を含めてください。座位保持装置については、車椅子等との区別上、補装具費取り扱い上どの種目として扱われたかに基づきご記入ください。

註2 「1-1」で、完成用部品の製造・輸入販売にかかる営業収益については、「義肢」、「装具」、「座位保持装置」の項ではなく「その他」に算入してください(完成用品目自体は福祉用具ではなく、その構成部品であるため)。

＜費用＞  
過去3年(3会計年度)にかかる費用についてご記入ください。もし可能でしたら内訳についてもご記入ください。  
該当する費用が生じなかった項目については、空欄にせず「0」千円とご記入ください。

	平成30年10月1日を含む会計期間	平成29年10月1日を含む会計期間	平成28年10月1日を含む会計期間
<b>＜費用＞</b>			
<b>1. 営業費用</b>			
[営業費用]: 事業における人件費、材料費、光熱費、車両費、旅費、交通費、通信費、事務費、法定福利費、減価償却費など全費用の合計額をお書き下さい。			
1. 営業費用(合計)	千円	千円	千円
(内訳がわかる場合は内訳のうち下記についてお書きください。※その他の費用もありますので、1-1~1-3の合計は上の「1. 営業費用(合計)」と一致しません。)			
1-1. 人件費(法定福利費事業主負担分込み)	千円	千円	千円
1-2. 完成用部品購入費 ※補装具の自社内での製作・修理に用いる目的で購入したものを対象とします(例えば、他社への卸のための購入分は含めないでください)	千円	千円	千円
1-3. 補装具対象福祉用具製作にかかる外注費	千円	千円	千円
<b>2. 営業外費用</b>			
[営業外費用]: 借入金(ローン)や社債等の金融上の費用(支払利息等)、有価証券等の余資運用での損失など本業以外の経営活動で生じた費用をご記入下さい。ただし、特別損失(通常の経営活動とは直接関わりのない、特別な要因で発生した臨時的な損失。固定資産売却損、災害損失、火災損失など)を除きます。法人税の支払いも含まれません。			
2. 営業外費用合計	千円	千円	千円

●III-2 事業所の総床面積について  
貴事業所の総床面積をお書きください。 [ ] 平方メートル

●IV その他

補装具の価格制度について、ご意見等ございましたらご記入下さい。

(本問は自由記入形式です。)



ご回答いただく設問はここまでです。ご協力どうもありがとうございました。

**義肢・装具・座位保持装置製作費用実態調査  
調査票B：費用構成補足調査**

国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
我澤 賢之

※本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金 障害者対策総合研究事業「補装具費支給制度における種目の構造と基準額設定に関する調査研究」(研究代表者 山崎伸也)を受け行っております。

●事業所名・所在地・ご回答担当者様等について

貴事業所ならびに担当者様についてご記入下さい。

事業所の所在する都道府県名についてご記入下さい。	
ご回答事業者様事業所名	
担当者様ご氏名	
担当者様電話番号	
担当者様メールアドレス (メールご使用の場合)	

下記の補装具の取扱の有無について、条件に該当する項目に○、該当しない項目に×をお書き下さい。

義肢	障害者総合支援法による義肢の取扱のある事業所様	<input type="checkbox"/>
装具	障害者総合支援法による装具の取扱のある事業所様	<input type="checkbox"/>
座位保持装置	補装具費支給基準の座位保持装置の項目に基づく見積もりによる機器の製作件数(ただし、特例補装具としての座位保持装置の製作件数を含む)について、過去3年間のなかで年間20件以上製作された年が一度以上ある事業所様	<input type="checkbox"/>

※1つ以上に○がある場合 → 以下の設問にお答え下さい。

※すべて×である場合 → ご回答いただく箇所はここまでです。ご協力ありがとうございます。お手数ですが、同封の返信用封筒もしくはeメールにてご返送ください。

下記の団体に加入されている場合、○印をお書き下さい。

日本義肢協会

日本車椅子シーティング協会

調査票B  
費用構成に関する補足項目

1. 営業費用の構成比率：製造原価等

※営業費用各費目(利益を含む)の営業収益(売上)に対する比率をお書きください(単位：パーセント)。各比率の合計が100%となるようにしてください。

1-1 製造原価				
a 製造にかかるとる物品購入費等(事業所全体の平均をご記入ください。種目別の違いについては「3」でおたずねします。)				
a-1 素材費(正味使用分+ロス分)	完成用部品の購入金額(正味使用分に、加工中の微小部品の脱落損失、倉庫保管中の亀裂などによるロスを含めた分)	個々の補装具に区分けできる材料(完成用部品を除く)の購入金額		%
a-2 完成用部品購入金額(正味使用分+ロス分)		個々の産業加工に対して使用量を決めたい材料の費用(麻ひも、ほとめ、細いコムハンパ、スナップ、木ねじ、油脂、銅線、銅錠、各種接着剤、プラスチック線、プラスチック接着テープ、糸、釘、ビス、ナット、リーフ・ワッシヤ等)		%
a-3 小物材料費		素材・完成用部品・小物材料の購入および保管に要する経費		%
a-4 材料管理費		(素材・完成用部品・小物材料の購入金額自体(a-1~a-3に相当)は含みません。それ以外の購入経費、ならびに管理経費を対象とします。)		%
b 製造にかかるとる人件費(労務費)(註1)				
b-1【義肢・装具・座位保持装置】	義肢・装具・座位保持装置の製造関連 基本工法にかかるとる人件費	義肢・装具・座位保持装置の製作・修理作業のうち基本工法相当作業にかかるとる人件費(賞与、退職金目的の積み立て、法定福利費を含む) ※基本工法にかかるとる作業の正味作業時間のみを対象とします		%
b-2【義肢・装具・座位保持装置】	基本工法以外の製作・修理正味作業にかかるとる人件費	義肢・装具・座位保持装置における基本工法以外の製作・修理にかかる正味作業等(例えば、利用者の希望するデザイン等対応の製作・修理作業等)にかかるとる人件費(賞与、退職金目的の積み立て、法定福利費を含む) ※作業準備等の時間相当分の人件費については、ここに含めず「b-3」に含めてください		%
b-3【義肢・装具・座位保持装置】	その他製造作業に伴う人件費	義肢・装具・座位保持装置製作・修理作業にともなう、b-1、b-2以外の人件費(賞与、退職金目的の積み立て、法定福利費を含む) ※作業準備、成取り、作業物の整理、清掃、工具機器の搬出入、工具機器の小修理、業務上生じる作業特有の手待ち時間、勤務時間内の生理的余裕時間(お手洗いや等)を対象とします		%
c 製造にかかるとる経費				
c-1 減価償却費	義肢・装具・座位保持装置以外の製造関連 義肢・装具・座位保持装置以外の製造関連	義肢・装具・座位保持装置以外の事業における製作等作業に携わるとる人件費(賞与、退職金目的の積み立て、法定福利費を含む)		%
c-2 外注加工費		減価償却費のうち製造にかかるとる部分。製造にかかるとる機械・設備等の減価償却費など		%
c-3 送料など(ただしa-4材料管理費算入分を除く)		加工にかかるとる外注費用 売上諸掛、仕入諸掛、その他各種送料 ※ただし、材料(素材・小物材料・完成用部品)購入にともなう送料などは「a-4 材料管理費」に含むものとして、ここには含めないでください。		%
c-4 衛生費		クリーニング代、清掃代・メンテナンス代、清掃用具のレンタル代、産業廃棄物処理費用など		%
c-5 その他		水道光熱費、賃料、その他の外注費用、特許使用料、法定福利費以外の保険料(所轄保険等)、衛生費以外での各種レンタル・リース費用など、その他の人件費・物品の購入費用、減価償却費以外の費用		%
1-2 販売費及び一般管理費(販管費)				
d 販売費及び一般管理費(販管費)				
1-3 営業利益				

2. 営業費用の構成比率：人件費

※人件費の営業収益(売上)に対する比率をお書きください(単位：パーセント)。

2-1 人件費の比率	総人件費	補装具の価格に占める、その製作等に要した人件費の計 ※基本工法ならびにそれ以外の製作作業・付随時間、販売費及び一般管理費に属する人件費等を含めた、すべての人件費の合計です。 ※賞与、退職金目的の積み立て、法定福利費を含みます		%
------------	------	--	--	---

註1 同一の方がこれら複数の職務等をおこなっている場合、該当する時間比率を踏まえて按分して下さい。

3. 総合支援法における義肢・装具・座位保持装置製作費用に関連する各種比率(製造にかかる物品購入費等種目別詳細)総合支援法における義肢・装具・座位保持装置製作における物品購入費等に関連する各種比率について、貴事業所における平均的な値をご記入ください。

2-1	素材費	義肢		装具		座位保持装置		車椅子・電動車椅子	
		製作	構造フレームを使用する場合	製作	構造フレームを使用する場合	製作	構造フレームを使用する場合	製作	構造フレームを使用する場合
2-1-1	素材のロス率(補装具製作に使用する素材正味使用量(金額)に対する比率) 補装具製作に使用する素材(個々の補装具に区分けできる材料。ただし完成用部品を除く)について、正味必要量に対し何パーセントをロス分として消費するか(素材の正味必要量に対する割増分)	%	%	%	%	%	%	%	%
	・小物材料費(補装具製作に使用する素材の購入費用(正味使用量+素材のロス分)に対する比率) 補装具の製作・修理に消費される材料のうち、個々の要素加工に対して使用量を決めたい材料使用分の購入金額について、素材購入金額(上記ロス分を含む)の何パーセント程度に相当するか(麻ひも、はとめ、細いゴムバンド、スナックブ、木ねじ、油脂、鉄釘、銅釘、各種接着剤、プラスチック銼、プラスチック接着テープ、糸、釘、ビス、ナット、リーフ・ワッシャー等)	%	%	%	%	%	%	%	%
	・素材・小物材料の管理費(補装具製作に使用する素材(正味使用量+素材のロス分)および小物材料の購入金額の計に対する比率) 素材・小物材料の購入・管理に要する経費(材料自体の購入金額自体を含まない購入にともなう経費、および管理経費)。	%	%	%	%	%	%	%	%
2-2	完成用部品費	完成用部品正味使用量相当金額に対する比率		完成用部品正味使用量相当金額に対する比率		完成用部品正味使用量相当金額に対する比率		完成用部品正味使用量相当金額に対する比率	
	完成用部品のロス率(補装具製作に使用する完成用部品の正味使用分購入金額に対し、加工中の微小部品の脱落損失、倉庫保管中の亀裂などによるロスを補うための修理・交換等に要する費用として何パーセントの割り増しを見込む必要があるか)	%	%	%	%	%	%	%	%
	・完成用部品購入金額の比率(総合支援法にその種目にかかる完成用部品の購入費が該補装具価格の何パーセントを占めるか(売上)に占める、完成用部品購入費の割合)	%	%	%	%	%	%	%	%
	・完成用部品の管理費(補装具製作に使用する完成用部品の購入金額(正味使用量+ロス分)に対する比率) 完成用部品の購入・管理に要する経費(完成用部品自体の購入金額自体を含まない購入にともなう経費、および管理経	%	%	%	%	%	%	%	%

義肢・装具・座位保持装置製作費用実態調査  
調査票C：素材単価について

国立障害者リハビリテーションセンター研究所  
山崎 伸也  
我澤 賢之

※本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金 障害者対策総合研究事業「補装具費支給制度における種目の構造と基準額設定に関する調査研究」(研究代表者 山崎伸也)を受け行っております。

●事業所名・所在地・ご回答担当者様等について

貴事業所ならびにご回答いただく担当者様についてご記入下さい。

事業所の所在する都道府県名についてご記入下さい。	
ご回答事業者様事業所名	
担当者様ご氏名	
担当者様電話番号	
担当者様メールアドレス	

下記の団体に加入されている場合、○印をお書き下さい。

日本義肢協会	<input type="checkbox"/>
日本車椅子シーティング協会	<input type="checkbox"/>

素材単価に関する調査

- 貴事業所での購入価格(単価)についてご記入ください。調査票に挙げた9つの時点のうち記入可能な凡ての時点についてご回答をお願いします。
- 貴事業所の方、座位保持装置製作事業者の方、共通の調査票となっております。取り扱いはある素材についてのみご回答ください。
- ※義肢・装具製作事業者の方、お取り扱いのない品についてはご回答いただく必要はありません。その場合該当欄を空欄にてお返してください。
- ※価格の変化率に関心がありますので、各時点ともサイズ・仕様など同等のものの価格をご記入ください。
- ※単位については、回答が難しい場合適宜ご修正ください。その場合、修正したことがわかりやすいよう、単位欄のセルの背景を着色するなどしてください。
- ※価格については、「消費税別(税抜)価格」をお書きください。(もし税別の記入が困難なごさいましたら、表の備考欄にその旨をお書きください。)

該当種目	素材・小物材料等名称	素材・小物材料等の別名称 製品名の例 その他補足説明など	備考欄 サイズ・厚さ・仕様など特記すべき点がござい ましたら、ご記入ください。 ※価格記入欄が複数時点に渡っております。 サイズ・厚さ・仕様等条件を揃えていただき、 価格をご記入ください。	購入価格(単価・消費税別)						
				平成31年4月～ 令和元年9月の 期間中のい れかの時点 での購入価格(税 別)についてご 記入ください。	平成29年4月～ 9月の期間中 のいれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入く ださい。	単位	平成26年4月～ 9月の期間中 のいれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入く ださい。	単位		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 石膏(ギブス粉)(1袋25kg)					円/袋			円/袋
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2 プラスランE (1巻)					円/巻			円/巻
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 キューズ包帯 2列(1巻)					円/巻			円/巻
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 キューズ包帯 3列(1巻)					円/巻			円/巻
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 熱可塑性プラスチックキャスト					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 アクリル樹脂硬性					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 アクリル樹脂軟性					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8 アクリル樹脂(軟性・硬性)混合					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9 アクリル樹脂用硬化剤					円/L			円/L
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10 熱硬化性樹脂 硬性					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11 熱硬化性樹脂 軟性					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12 発泡樹脂					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13 熱可塑性プラスチック材					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14 ポリプロピレン			PPシート、カラ-PPなど		円/m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15 コ・ポリマー					円/m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16 サブ・オルソレン					円/m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17 オルソレン					円/m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18 トレラッククリア					円/m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19 アセトン・シンナー類					円/L			円/L
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20 接着剤					円/kg			円/kg
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	※各時点でサイズ・仕様が同じもの の価格をご記入ください。								

義肢	装具	座位保持装置	素材・小物材料等名称	素材・小物材料等の別名称 製品名の例 その他補足説明など	備考欄 サイズ・厚さ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。 ※価格記入欄が複数時点に渡っております。 サイズ・厚さ・仕様等条件を揃えていただき、 価格をご記入ください。	平成31年4月～ 令和元年9月の 期間中のいずれ れかの時点で の購入価格(税 別)についてご 記入ください。	単位	平成29年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位	平成26年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位
○	○		21 PVA シート				円/m <sup>2</sup>		円/m <sup>2</sup>	円/m <sup>2</sup>	
○	○		22 PVA 4"				円/枚		円/枚	円/枚	
○	○		23 PVA 6"				円/枚		円/枚	円/枚	
○	○		24 PVA 8"				円/枚		円/枚	円/枚	
○	○		25 PVA 10"				円/枚		円/枚	円/枚	
○	○		26 PVA 12"				円/枚		円/枚	円/枚	
○	○		27 ナイロンストッキングネット 2"				円/kg		円/kg	円/kg	
○	○		28 ナイロンストッキングネット 3"				円/kg		円/kg	円/kg	
○	○		29 ナイロンストッキングネット 4"				円/kg		円/kg	円/kg	
○	○		30 ナイロンストッキングネット 10"				円/kg		円/kg	円/kg	
○	○		31 ストッキング				円/kg		円/kg	円/kg	
○	○		32 Vマット(1m幅)				円/m		円/m	円/m	
○	○		33 テトロンフェルト(1m幅)				円/m		円/m	円/m	
○	○		34 トレカクロス25mm				円/m		円/m	円/m	
○	○		35 トレカクロス50mm				円/m		円/m	円/m	
○	○		36 カーボンストッキングネット 3インチ				円/m		円/m	円/m	
○	○		37 カーボンストッキングネット 4インチ				円/m		円/m	円/m	
○	○		38 カーボンストッキングネット 5インチ				円/m		円/m	円/m	
○	○		39 カーボンストッキングネット 6インチ				円/m		円/m	円/m	
○	○		40 カーボンストッキングネット 8インチ				円/m		円/m	円/m	
○	○		41 カーボンシート材				円/m <sup>2</sup>		円/m <sup>2</sup>	円/m <sup>2</sup>	
○	○		42 カーボン帯状のもの(2.5cm幅)				円/m		円/m	円/m	
○	○		43 カーボン帯状のもの(5cm幅)				円/m		円/m	円/m	
○	○		44 グラスファイバー				円/m <sup>2</sup>		円/m <sup>2</sup>	円/m <sup>2</sup>	
○	○	○	45 クローム革				円/ds		円/ds	円/ds	
○	○	○	46 なめし革				円/ds		円/ds	円/ds	
○	○	○	47 スメ革				円/ds		円/ds	円/ds	
○	○	○	48 茶利革				円/ds		円/ds	円/ds	
○	○	○	49 合成皮革(クラリーノ等)				円/ds		円/ds	円/ds	
○	○		50 木ブロック				円/個		円/個	円/個	
○	○		51 桐材				円/m		円/m	円/m	
○	○		52 アンクルブロック(ホウ材)				円/個		円/個	円/個	

義肢	装具	座位保持装置	素材・小物材料等名称	素材・小物材料等の別名称 製品名の例 その他補足説明など	備考欄 サイズ・厚さ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。 ※価格記入欄が複数時点に渡っております。 サイズ・厚さ・仕様等条件を揃えていただき、 価格をご記入ください。	平成31年4月～ 令和元年9月の 期間中のいずれ れかの時点で の購入価格(税 別)についてご 記入ください。	単位	平成29年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位	平成26年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位
○	○	○	53 軽合金(ナマコボー)				円/本		円/本		円/本
	○		54 半月材				円/本		円/本		円/本
	○	○	55 ポリエチレン	PEライト			円/枚		円/枚		円/枚
	○	○	56 黄スポンジ				円/枚		円/枚		円/枚
	○	○	57 EVA等硬質スポンジ				円/枚		円/枚		円/枚
	○	○	58 ゴム系樹脂クッション素材				円/枚		円/枚		円/枚
		○	59 ピラミッドシート等滑り止めシート				円/枚		円/枚		円/枚
	○	○	60 ゴム帯地(25mm幅)				円/m		円/m		円/m
	○	○	61 ダクロンテープ(25mm幅)				円/m		円/m		円/m
	○	○	62 ビニール管(義手・腋下部用)				円/m		円/m		円/m
	○	○	63 ベルト(バックル)				円/個		円/個		円/個
	○	○	64 丸環				円/個		円/個		円/個
	○	○	65 フェルト				円/m		円/m		円/m
	○	○	66 帆布				円/m		円/m		円/m
	○	○	67 オペロン				円/m		円/m		円/m
	○	○	68 バイル地				円/m		円/m		円/m
○	○	○	69 布(上記以外のもの) ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。				円/m		円/m		円/m
	○		70 スパンデックス				円/m		円/m		円/m
		○	71 ウレタンチップ #6000	CH402、柔らかチップ			円/m		円/m		円/m
		○	72 ウレタンチップ #7000	CH403			円/m		円/m		円/m
		○	73 ウレタンチップ #8000	CH404			円/m		円/m		円/m
		○	74 ウレタンチップ #10000	CH406			円/m		円/m		円/m
		○	75 ウレタンチップ #12000	CH408			円/m		円/m		円/m
		○	76 ウレタンチップ #15000	CH411			円/m		円/m		円/m
		○	77 ウレタンチップ #20000	CH416			円/m		円/m		円/m
	○	○	78 ウレタン 10mm厚				円/m		円/m		円/m
	○	○	79 低反発ウレタン 15mm厚				円/m		円/m		円/m
	○	○	80 低反発ウレタン 20mm厚				円/m		円/m		円/m
	○	○	81 低反発ウレタン 30mm厚				円/m		円/m		円/m
	○	○	82 低反発ウレタン 40mm厚				円/m		円/m		円/m
	○	○	83 低反発ウレタン 50mm厚				円/m		円/m		円/m

義肢	装具	座位保持装置	素材・小物材料等名称	素材・小物材料等の別名称 製品名の例 その他補足説明など	備考欄 サイズ・厚さ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。 ※価格記入欄が複数時点に渡っております。 サイズ・厚さ・仕様等条件を揃えていただき、 価格をご記入ください。	平成31年4月～ 令和元年9月の 期間中のいずれ れかの時点で の購入価格(税 別)についてご 記入ください。	単位	平成29年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位	平成26年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位
	○	○	84 ムマック 10mm厚				円/m		円/m		円/m
	○	○	85 ムマック 15mm厚				円/m		円/m		円/m
		○	86 合板 90cm x 180cm 9mm厚				円/枚		円/枚		円/枚
		○	87 ビニールレザー				円/m		円/m		円/m
	○	○	88 マジックベルト 25mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	89 マジックベルト 30mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	90 マジックベルト 38mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	91 マジックベルト 40mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	92 マジックベルト 50mm幅				円/m		円/m		円/m
		○	93 Wラッセル 5mm厚以下	フュージョンなど。表皮用途など。			円/m		円/m		円/m
	○	○	94 Wラッセル 8mm厚	フュージョンなど。クッション素材用途など。			円/m		円/m		円/m
	○	○	95 Wラッセル10mm厚以上	フュージョンなど。クッション素材用途など。			円/m		円/m		円/m
		○	96 エアータッチ(ダブル)				円/m		円/m		円/m
	○	○	97 ナイロンベルト 25mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	98 ナイロンベルト 38mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	99 ナイロンベルト 50mm幅				円/m		円/m		円/m
	○	○	100 ラミネート 5mm厚				円/m		円/m		円/m
		○	101 防水シート				円/m		円/m		円/m
	○	○	102 バックル 25mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	103 バックル 38mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	104 バックル 50mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	105 アジャスター 25mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	106 アジャスター 38mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	107 アジャスター 50mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	108 Dカン 25mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	109 Dカン 38mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	110 Dカン 50mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	111 角カン 25mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	112 角カン 38mm幅用				円/個		円/個		円/個
	○	○	113 角カン 50mm幅用				円/個		円/個		円/個
		○	114 インプレッションフォーム				円/個		円/個		円/個
		○	115 フットプリント用紙				円/枚		円/枚		円/枚

義肢	装具	座位保持装置	素材・小物材料等名称	素材・小物材料等の別名称 製品名の例 その他補足説明など	備考欄 サイズ・厚さ・仕様など特記すべき点がございましたら、ご記入ください。 ※価格記入欄が複数時点に渡っております。 サイズ・厚さ・仕様等条件を揃えていただき、 価格をご記入ください。	平成31年4月～ 令和元年9月の 期間中のいずれ れかの時点で の購入価格(税 別)についてご 記入ください。	単位	平成29年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位	平成26年4月～ 9月の期間中の いずれかの時 点での購入価 格(税別)につ いてご記入くだ さい。	単位
		○	ステンレスパイプ ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	アルミパイプ ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	鉄パイプ ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	木材 ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	塗料 ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	ミン糸 ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	麻糸 ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	スピンドル紐(ダブメン紐) ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	ボルト ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	ナット ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	ワッシャー ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	スプリングワッシャー ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	鉄線 ※各時点でサイズ・仕様が同じも のの価格をご記入ください。			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	カービンマシン用コーン			円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	円/( )	
		○	ドリルの刃			円/本	円/本	円/本	円/本	円/本	

ご回答いただく期間はここまでです。ご協力どうもありがとうございました。